

ため池 ハザードマップ

— 地震によるため池氾濫時の防災地図 —

平成28年2月作成

自分の身は自分で守る!! そのために!

- ⚠️ 洪水区域は、 **さらに広い!**
- ⚠️ 状況に応じて、 **最も安全な避難ルート**を!
- ⚠️ 避難は、 **歩いて行動!** ★「緊急輸送道路」は、緊急車両用に確保する。
- ⚠️ 避難の際は、 **無理に動かない。外は危険!**
- ⚠️ 大地震がきたら、 **すぐに高台へ! 建物の2階へ!**

歩行時間の目安



古山貯水池
 最終改修: 昭和61年
 総貯水量: 586千m³
 堤高: 14.80m
 堤長: 250m

ポン古山貯水池
 最終改修: 昭和63年
 総貯水量: 73千m³
 堤高: 10.45m
 堤長: 180m



記号凡例

- 🚶 緊急避難場所
- 🏠 避難所 (町設定避難所)
- ➡️ 避難方向
- 1分 洪水到達時間
- 🔴 浸水想定区域 (点線は隣接エリア)
- 2m 最大水深
- 🛣️ 緊急輸送道路 (災害時に通行を確保すべき道路)
- ⊗ 危険箇所

水深凡例



ため池ハザードマップ

万一、ため池が決壊したときを想定して、迅速かつ安全に避難する情報を示した図です。

緊急避難場所

大きい地震がきたとき、身の安全を確保するため、とっさに避難するところです。

避難所

町が設定した避難者を収容する施設です。ここで家族や友人と合流します。

浸水想定区域^{※1}

ため池が決壊したとき、水が浸かることが想定される範囲を示しました。実際とは異なります。

洪水到達時間^{※2}

ため池が決壊して、洪水が来るまでに想定される時間です。実際とは異なります。

最大水深^{※3}

ため池が決壊したとき、押し寄せる水が最大でどのくらいかを想定したものです。実際とは異なります。

※1) 浸水想定区域: 「ため池簡易氾濫解析」(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所)の最大範囲に、地域住民のご意見(過去の経験等)を反映した。

※2) 洪水到達時間: 上流域は、不定流解析による計算値。下流域は、ため池簡易氾濫解析と不定流解析からの推定値。

※3) 最大水深: 堤体の全決壊を想定した水深で、不定流解析により算出した。

我が家の避難先・連絡先

日ごろから家族の集合場所などを決めておきましょう

ため池に、異常があったら!

由仁土地改良区(施設)
0123-83-2336

南空知消防組合由仁支署(救助)
119 番または **0123-83-2388**